

<胃がん地域連携パス 改訂版の変更点について> R7.2.13

胃がん ESD 地域連携パスについて、以下の点について変更・改訂します。

1) 【2-6 胃がんパス（内視鏡治療）：計画書】の変更点

- ◆ 診療負担の軽減を目的に、一部の必須受診を「△できれば行う」に変更
 - ▶ 術後6ヶ月：診察・採血…拠点病院での「●必須」を「△できれば行う」に
内視鏡…「○どちらかの施設で実施」を「△できれば行う」に
 - ▶ 術後1年3ヶ月：診察・採血…かかりつけ医の「●」を「△」に
 - ▶ 術後1年6ヶ月：診察・採血…拠点病院の「●」を「△」に、かかりつけ医で「●」に
 - ▶ 術後1年9ヶ月：診察・採血…かかりつけ医の「●」を「△」に

2) 【2-7 胃がんパス（内視鏡治療）：連携ノート】の変更点

- ◆ 診療実態に合わせて、下記の2点を変更
 - ▶ ピロリ菌の感染状況、除菌治療歴の記載欄を追加 …5ページ
 - ▶ 連携計画書中、腫瘍マーカー測定値の記載欄から[CA125]を削除 …7ページ
- ◆ ノートの使いやすさ、見やすさの点からページ構成を修正、及び項目追加
 - ▶ 連携計画書ページを用途により、2箇所に分離
 - * 連携計画（診療スケジュール・腫瘍マーカー記載欄）医療者を含む確認用 …7ページ
 - * 自己チェックシート（術後状態・血液データ）任意使用 …12～13ページ
 - ▶ 検査結果の所見欄に異常の有無の記載欄を追加 …8～9ページ
 - ▶ 後遺症・合併症の説明ページを追加 …10～11ページ

3) 補足

- ◆ 【2-6 胃がんパス（内視鏡治療）説明文】の修正
 - ▶ 「ガイドラインで推奨される治療法」表中の「N3」を「N3a,NSb」に変更 …1ページ
- ◆ 連携ノートの変更点の一部を【2-4 胃がんパス（術後）：連携ノート】にも適用
 - ▶ 連携計画書ページを用途により、2箇所に分離 …8～9ページ、12～13ページ
 - ▶ 検査結果の所見欄に異常の有無の記載欄を追加 …10～11ページ
 - ▶ 腫瘍マーカー欄から[CA125]を削除

＜胃がん地域連携パス 改訂版の変更点について＞ R6.6.6

胃がん術後地域連携パスについて、胃癌取り扱い規約の更新、及び診療実態に合わせて、以下の点について変更・改訂します。

1) 【2-1 胃がんパス（術後）説明文（医療者用）】

【2-2 胃がんパス（術後）計画書（医療者用）】の変更点

- ◆【胃がんの進行度】 進行度分類を胃癌取り扱い規約第 15 版に準拠するよう修正
- ◆ 術後補助化学療法 対象範囲を修正
 - 進行度分類表 推奨される範囲の色分けを修正
 - ステージⅡ～Ⅲ 計画書 対象外の範囲を追記
- ◆ 術後補助化学療法 掲載薬剤を更新
 - 経口抗がん剤と併用する注射剤の組み合わせ毎にスケジュール欄を作成

2) 【2-4 胃がんパス（術後）連携ノート】の変更点

- ◆ 5ページ【胃がんの進行度】を上記 1) の修正に応じて修正
- ◆ 同ページ 進行度分類表下部 術後補助化学療法についての注釈を修正
- ◆ 7ページ【術後治療・検査の要約】ステージⅡ～Ⅲの要約文を修正
- ◆ 10～11 ページ【胃がん治療に関する連携計画書】
抗がん剤治療のスケジュール欄を上記 1) の修正に応じて修正

3) 補足

- ◆ パスの見やすさ、使いやすさについて
 - 医療者用パスを連携計画書とその他説明文に分離
 - 術後パス、ESD パスの区別を明確化（パス名明記・連携ノート表紙の色変更）
 - 各ひな型中の平成を令和に変更

以上